離婚協議書

○○（以下，「甲」という。）と●●（以下，「乙」という。）は，本日次の通り合意したので、本書を二通作成し各自一通ずつ保存する。

第１条（離婚の合意）

甲と乙とは、協議離婚することおよび甲乙は離婚届用紙に所要事項を記載し署名押印の上その届出を甲に託し、甲が直ちにその届出を行うことを合意した。

第２条（親権者の定め）

　　甲乙間の未成年の子××（平成○年○月○日生、以下「丙」という）の親権者及び監護者を甲と定める。

第３条（養育費等）

　１　乙は甲に対し、丙の養育費として平成○年○月より丙が２０歳に達する日の属する月まで、１か月○万円を毎月末日限り、丙名義の株式会社○○銀行○○支店普通預金口座○○○○○○○に振り込む方法により支払う。

　２　丙の病気等による入院費用等の特別な費用については、甲乙が協議の上、別途乙が甲に対し、その必要費用を支払うものとする。

　３　甲と乙は、相互に、転職や再婚、養子縁組その他、養育費の額の算定に関して影響を及ぼす虞のある事由が生じた場合には、速やかに相手方に通知するものとし、必要に応じて、別途協議できるものとする。

第４条（慰謝料）

乙は、甲に対し、慰謝料として○○○万円の支払義務があることを認める。

第５条（慰謝料の支払方法）

乙は、甲に対し、連帯して、第４条の金員を、平成○年○月○日限り、株式会社○○銀行○○支店普通預金口座○○○○○○○に振り込む方法により支払う。

第６条（清算条項）

甲、乙及び丙は、甲と乙の間及び甲と丙との間には、この離婚給付等契約公正証書に定めるもののほかに何らの債権債務がないことを相互に確認する。

平成○○年○月○日

甲　　○○　○○　㊞

乙　　○○　○○　㊞